

第二十一回帝國議會 院 擔保附社債信託法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十八年二月二十三日午前十一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

- 鳩山 和夫君 福島 勝太郎君 守屋 此助君
- 大久保弁太郎君 古賀 庸藏君 堀田 連太郎君
- 大戸 復三郎君 川真田德三郎君 中澤 楠彌太君
- 濱口 擔君 粕谷 義三君

出席政府委員左ノ如シ

司法省參事官 平沼騏一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

擔保附社債信託法案(政府提出貴族院送付)

○委員長鳩山和夫君 開會致シマス、モウ第一章ニ付イテハ、昨日質問全部ヲ終ツタヤウデスガ、殘ガアルナラバ、此際……

○守屋此助君 私ハ昨日イロノ外ノ用ガアツテ、少シモ御問ヲ致シテ居リマセヌガ、第一章ノ第六條ノコトニ付イテ御問ヲシタイノハ、信託會社ハ、銀行業者ヲ除クノ外、其業ヲ兼ヌルコトヲ得ヌトアル、之ニ關聯スルコトハ、昨日斯ウ云フコトノ御問ガアツテ、平沼サンカラ御答ガアツテ、信託會社ト云フモノハ、保證ノ義務ニ立ツト云フ事柄ガアルカナイカ、債權者ニ向ッテ——ト云フ時ニナツテ、信託ト云フ事柄、ソレ自身ガ人ノ保證ニ立ツト云フモノデナイ、債務ト云フコトヨリ違フ點ハ云々アルガ、兎ニ角信託契約ソレ自身ト云フモノハ、保證義務ハ有タヌモノデアル、併シ此信託契約ニ一ノ附隨ノ契約トシテ、別項ノ契約ヲスレバ、保證契約ニ立ツコトガ出來ル、ソレハ差支ナイヤウナモノデアルト云フ御答ガアツテ、是デ私ガ疑ヲ生ジタノハ、信託會社ガ定款ヲ拵テ來ル、其定款ニ「信託事業ソレ自身トシテハ、保證ノ義務ニ立ツト云フ事柄ヲバ、直グト掛ケルコトガ出來ナイダラウト云フノハ、信託契約ソレ自身ガ、保證ヲ意味セヌト云フノガ原則デアル以上ハ、サウシテ見レバ、銀行ノ事業ヲ兼ヌルコトガ出來ル上カラ、銀行事業ノ中ニ保證ノ義務ニ立テ得ルト云フコトガアレバ、私ハ信託會社ノ附帶ノ義務トシテ、保證ノ義務ニ立テ得ルコトガ出來得ルカト思ヒマス、然ル所今度信託會社ガ新タニ出來レバ、格別、今ノ興業銀行ヲシテナサシムルト云フ趣意ダト云フコトハ、興業銀行法改正委員會ニ於テ、左様ナ説明デアリマシタ、ソコデ此興業銀行ノ條例ヲ見ルト、興業銀行ハ、是々ノ外ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズト、制限ノ二事項ヲ並ニテゴザイマスカラ、是ニハ保證ト云フモノハ、興業銀行ノ營業課目ニテ、然ラバ一般ノ銀行ガ、日本ニ今日人ノ保證ニ立ツト云フ事業ヲハ認メテ居ルカ、私銀行ト云フモノハ認メサセタイ、今日亞米利加ナドデ之ヲ明カニ認メテ、ドンクヤラシテ居ルサウダガ、悲ヒコトニハ、日本ニハ認メテ居ラヌト思フ、是ハ銀行ト云フモノハ、殊ニ保證ニ立ツト云フ事柄ト云フモノハ、帝國ノ銀行條例ノ認メトコロデアアル云々デアアルト云フ事柄デ、昨年ノ夏頃カ大審院モ一度マデ法廷ヲ開イテ、聯合會マデ開イタ判決例ヲ

見テモ、日本ノ銀行ハ銀行事業ノ保證ニ立ツコトハ認メヌト云フ、判決ヲシテアルヤウニ心得テ居リマス、彼ヤ是ヤヲ推想シテ、銀行事業ノ方ノ保證義務ニ立ツト云フコトヲ、別ニ認メルト云フナラ格別、銀行ガ保證ニ立ツコトハナイ、今度ノ信託契約ニハ、平沼君ノ御説明ニモ、ソレハ原則トシテナイト云フコトデアアルガ、サウシテ見ルト、信託會社ノ取扱フ事柄ニ付イテ、六條ノ規定カラ保證義務ノ信託會社ガ立ツタナラバ、法律違反デモ無効ニナルト云フ議論ガ出ルコトニ於テ、此事柄ハ後日外國ノ金ヲ入レルコトニナルト、重大ノ關係ヲ持ツ、信託會社ガ保證ニ立ツバ金ヲ出ス、唯擔保物ヲ借金スル人ガ、信託會社ニスルダケナラバ安心セヌ、尙信託會社ガ保證ニ立ツタナラバ、金ヲ出スト云フコトガアラウト思ヒマス、重大ナコトニナル、是ニ就イテ附帶ノ契約トシテ、信託會社ガ保證ノ義務ニ立テ得ルト云フコトハ、何所ニ基イテ御論カト云フコトヲ、チヨット承ッテ置キタイ

○政府委員平沼騏一郎君 今日銀行ニ於キマシテ、銀行ガ債務ノ保證ヲナスコトガ出來ルカ否ヤト云フコトハ、餘程議論ノアルコトデアアラウト考ヘルノデゴザイマスガ、此點ハ唯今デハ立ツコトノ出來ルモノデアル、保證ト云フ一ノ法律行為ヲ、銀行ヲ爲シテ差支ナイモノデアアルト云フ考ヲ有ッテ居リマスルノデアリマス、ソレカラ此信託ノ性質カラ申シマシテ、保證ト云フ意味ガ、信託ト云フ中ニ籠ッテ居ラヌト云フコトハ、之ハ勿論ノコトデアラウト考ヘマスルガ、併ナガラ此社債ヲ募集致シマストコロノ條件、其條件ト云フモノハ、詰リ委託會社ト受託會社ノ間ノ契約ヲ定マルノデゴザイマスカラ、其條件ノ一ト致シマシテ、受託會社ト云フモノガ保證義務ヲ負擔スル、ソレヲ一ノ條件ト致シマシテ、社債ヲ募集スルト云フコトニ就キマシテハ、何等差支ナイコトデアアラウト考ヘル、詰リ其場合ニハ、成程保證ト云フコトハ、一ノ營業ニハナラナイノデアリマスケレドモ、其營業行為ヲナスニ就キマシテ、受託會社ガナストコロノ一ノ法律行為デアアル、斯ウ見マシタナラバ、一向差支ナイコトデアアルト考ヘルノデアリマス、ソレダケノコトヲ、御答シテ置キマス

○守屋此助君 サウ致シマスルト、此信託會社ソレ自身ノ營業ノ性質トシテ、保證ニ立ツト云フ事柄ハ、ナシ得ルト云フ御答ニナルノデゴザイマスカ、此會社ハ銀行ノ業ヲ營ムコトヲ得ルトアルカラ、銀行ト云フモノハ一鉢保證ニ立テ得ルノデアアルカラ、其方ノ側カラ保證ト云フ事柄ニ、此信託會社ガ立テ得ルト云フノデゴザイマスカ、議論ノ基クトコロガ、何方ニアリマスカ

○政府委員平沼騏一郎君 唯今私ノ答ヘマシタノハ、何方ノ方面カラ參リマシテモ、出來ルト云フ考デアアル、銀行業ヲ營ンデ居ルモノガ、保證ト云フ法律行為ヲナスコトハ、差支ナイト云フノガ第一點ト、ソレカラ其事ハ議論ノアリマスル點デアアルト致シマシテ、出來ナイト假定致シマシテモ、信託契約ヲ結ブ、信託契約ニ依ッテ社債募集ノ條件ヲ極メル、其場合ニ保證ト云フコトガ一ノ條件ニナル、サウスレバ其社債ヲ募集スルニ就キマシテ、保證ノ義務ニ立ツ信託會社ガ、保證スルト云フ一ノ法律行為ヲナスト云フコトハ、即チ社債募集ノ條件トシテ定メラレタコトヲ、實行スル一ノ方法ナルノデアリマスカラ、敢テ之ヲ禁ズルト云フ趣意ニハナラマイ

○堀田連太郎君 第四條ノ「社債ニ付スヘキ物上擔保ハ左ニ掲クルモノニ限ル」トアル、其四項ノ船舶抵當ト云フモノデアリマス、是ハ此五、六、七ノ鐵道抵當、工場抵當、鑛業抵當等ハ、別ノ法案モ出テ、細カニドウ云フコトヲ含ムト云フコトガ、他ノ法律ヲ分ツテ居リマスカラ宜シイガ、船舶抵當ト云フコトガ、別ニ細カキ説明ガシテアリマセヌカラ、ソレハ政府委員ニ此場合、船舶抵當ノ意義ヲ明ニシテ置キタイ

○政府委員平沼騏一郎君 此第四ニ掲ケマシタ船舶抵當ト申マシテ文字ハ、商法ノ規定ニ依リマスル船舶抵當ニ相成マス、商法ノ中ニ船舶抵當ニ關シマスル規定ガ、備テ居リマスノデアリマス、現今ノトコロニ於キマシテハ、其規定ニ依リマスルノデアリマス

○守屋此助君 一應先刻ノ御説明デ分リマシタガ、尙此事ハ大事カラ、御問ヒシテ置キタイノハ、第七條ノ例ヘバ信託法案ノ効力ナド、云フトコロデ、少シモ原則トシテ、一躰信託會社ガ保證ニテモ立ツト云フ事柄ハ、殆ド想像シテナイカ如ク見エテ、大戸君ガ御問ニナツトキニ、代理契約ト信託契約トノ區別如何ト云フ點ニ付イテ、疑ヲ存セラレタ如クニ、其範圍ガ定メテナイヤウデスガ、私ノ考ハ日本ノ今日ノ銀行ハ、保證ハ差支ナイト思ツテ居リマスガ、現行法律デハ大審院ノ裁判ノ如ク、銀行ニ保證ト云フコトヲ認メテナイヤウニ思フ、依ツテ經濟界ノ發達ヲ良クスルニハ、銀行モ保證義務ニ立チ得ルヤウニシタイ、方々ノ銀行ハ今日デモ事實ハヤツテ居ル、併シ大審院ハ無効ト云フ判決ヲ下シテ居リマスガ、實際ハサウデアアル、ソレデ昨日ノ説明デハ信託契約ノ効力デ、保證ニ立ツコトハ出來ヌト云フ御論デアツタガ、今日ノ御説明デハ信託契約ガ保證ニ立ツコトガ出來ルト云フ御論デアアル、其間前後矛盾シヤシマスマイカ

○政府委員平沼騏一郎君 別ニ矛盾シナイ考デアリマス、成程信託契約ノ當然ノ内容トシテ、其中ニ保證ト云フコトハ含シテ居リマセヌノデスガ、特ニ受託會社ト委託會社ト契約ヲシマスレバ、其特約ノ結果トシテ、保證義務ガ發生スルト云フコトニナラウト思フ、特別ニ其契約ノ中ニ加ヘマセバ、其効力ハ當然發生シナケレバナラヌノデアリマス、第七條ニアル信託契約ノ効力ト云フモノハ、別段ノ約束ト云フモノヲ、特ニシナクテモ、信託契約ヲ結ビマスレバ、當然是ダケノ効力ヲ發生スル、其分ヲ茲ニ載セテデアリマス

○守屋此助君 信託會社ソレ自身ハ、信託ト云フコトダケテハ保證ニ立ツコトヲ、ドウシテモ出來ナイノデアルト云フコトハ、前提ナルカラ、私ノ疑ハ貽ルノデ、信託會社ト云フモノハ、信託ト云フ事柄自身ノ中ニハ、人ノ保證ニ立ツト云フコトヲ意味シタノデナケレバ、サウ云フ契約ヲシテモ、法律違反デナイカト思フノデアアル、故ニ保證ニ立ツト云フコトハ、信託會社ガ保證ニ立ツト云フコトヲ明カニシテ置ク方ガ、結局此目的ノ果タスニ付イテ、宜イト思ヒマスガ、信託ノ本性質トシテ、サウ云フコトガナイト云フ説明ガアルカラ、私ノ疑ガ起ルノデアリマス

○政府委員平沼騏一郎君 其點ハ私ハ申上ケヤウガ、惡ウゴザイマシタカモ知レマセヌガ、結局斯ウ云フ意味デス、信託契約ガ當然ノ効力トシテハ保證ハ這入ッテ居ラナイ、併ナガラ信託契約ト云フモノハ社債募集ノ條件ヲ定ムベキ契約デアリマスカラ、明言ヲスレバ保證義務ヲ發生スルコトヲ妨ゲナイ、併シ信託契約當然ノ効力トハナラナイ、若シ當然保證ガ加ハルモノナラバ、黙ツテ居ッテモ這入ル、併シサウデナイ、當然ノ効力デアリノデアリマスカラ、特ニ言ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味デ申上ケタノデアリマス

○守屋此助君 信託會社ガ新タニ出來ルモノハ、定款ニ於テ此信託會社ハ保證ニ立ツコトヲ得ト云フコトヲ、定款ニ規定ヲ要スルモノト思ヒマスガ、サウデアアルカ、ソレカラ信託會社ガ新タニ出來ルノデナイ場合ハ、興業銀行ハ是ヨリ出來ナイト制限シテ居リマスガ、ソレニハ保證ニ立ツコトヲ禁ジテ居リマスガ、今日ノ興業銀行ハ、保證ニ立ツコトハ出來マセヌノデアリマスガ

○政府委員平沼騏一郎君 保證ニ立ツト云フコトヲ、一ツノ營業ト見レバ、定款ニ書カナケレバナリマセヌガ、他ノ事業ヲナスニ付イテ一ノ必要ナル法律行為トシテナスナラバ、定款ニ掲グル必要ハナイト思フ、他ノ事業ヲナスニ付イテ一ノ法律行為ニナルノデアアル、保證ニ立ツコトヲ營業ノ課目トスルナラバ、定款ニ書カナケレバナリマセヌガ、保證ト云フ一ノ獨立營業ガアルト云フ次第デナケレバ、定款ニ書ク必要ハナイト思フ、興業銀行ニ付イテノ御尋ネハアリマシタガ、興業銀行條例ヲ暗記シテ居リマセヌカラ、或ハ不正確ナ御答ニナルカ知リマセヌガ、興業銀行條例ニ於テ保證ニ立ツコトハ、營業課目トシテ居リマセヌガ、興業銀行法ニ於テ規定セラレテ居リマスル、各種ノ營業ヲ爲スニ付イテ、保證ト云フ一ノ法律行為ヲ爲スコトガ必要トナツテ參リマスレバ、興業銀行ハソレヲ致シマシテ、一向差支ナイト解シテ居ルノデアリマス

○守屋此助君 一言以テ之ヲ蔽ヘバ、保證契約ハ付帶ノ事業トシテ——此節學者先生ガ用弁テ居ル言葉ガアリマスガ、アノ附帶事業ニナルノデスカ

○政府委員平沼騏一郎君 結局サウデアリマス

○大戸復三郎君 守屋君ノ御尋ネノアツタ通ニ、信託會社ノ定款ニテモ、其事ヲ書イテ置キマセヌト、ドンナモノデアリマセウカ、定款ニ保證ヲ爲スコトヲ得ト云フ箇條ガ、一箇條アレバ宜シト思ヒマスガ、定款ニ規定ノナイ場合ニ、保證上ノ義務ヲ負ハスルコトハ、問題ヲ生ジヤシナイカト云フ點ニ付イテ、守屋君ト同様ノ感シヲ有ツテ居リマスガ、定款ニ書カナイデモ宜シイ、信託會社ノ定款ノ中ニ其事ヲ書イテ置カナケレバ、保證シテモ効力ガナイト云フ議論ハ、生ジヤシナイカト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員平沼騏一郎君 先刻守屋君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマシタガ、定款ニ書ク必要ハナカラウト思ヒマス、若シ保證ト云フモノガ、一ツノ獨立ノ營業ト云フモノニナレバ、ソレハ書カヌナラヌガ、併シ信託契約ヲ結ビニ付イテ、保證ト云フ法律行為ヲ爲シ得ルコトニナレバ、定款ニ書ク書カヌト云フコトハ、關係ノナイコトニナルト云フ考デアリマス

○堀田連太郎君 今ノ御説デハ、私ナドノ信ジテ居ル所トハ、反對ニナツテ來ルト云ノハ、保證ヲセヌト云フコトガ、原則ニナツテ居ルノト、保證ヲスルト云フコトガ出來ルト云フコトヲ、前以テ定メテ置ケバ、會社ノ信用上ニ付イテ、宜カラウト思フト云フモノハ、假ニ工場抵當ナリ鑛業抵當ヲ、信託會社ガ引受ケテ、社債ヲ外國ニ募ルト云フ時ハ、工場ハ何デアアルカト云フコトハ、認メテ居ラナイ、詰リ信託會社ヲ信ジテ、社債ノ募集ニ應ズルト云フコトハ、實際ニ起ルデアラウト思フ、其場合ニハ信託會社ガ保證ノ地位ニ在ルモノト云フコトガ、原則ニ於テ認メザラ得ズ、サウ實ハ考ヘテ居シタノデアリマスガ、斯ノ如キ御説デ見ルト、大變信託會社ノ信用上ニ關係ヲシテ來ヤセヌカ、少シク無責任ニ見ラレルヤウナコトニナツテ來ヤセヌカト云フ疑ガアリマス、尙一應御尋ネ致シテ置キマス

○政府委員平沼騏一郎君 其點ハ私ハ申上ケヤウガ、惡ウゴザイマシタカモ知レマセヌガ、結局斯ウ云フ意味デス、信託契約ガ當然ノ効力トシテハ保證ハ這入ッテ居ラナイ、併ナガラ信託契約ト云フモノハ社債募集ノ條件ヲ定ムベキ契約デアリマスカラ、明言ヲスレバ保證義務ヲ發生スルコトヲ妨ゲナイ、併シ信託契約當然ノ効力トハナラナイ、若シ當然保證ガ加ハルモノナラバ、黙ツテ居ッテモ這入ル、併シサウデナイ、當然ノ効力デアリノデアリマスカラ、特ニ言ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味デ申上ケタノデアリマス

○守屋此助君 信託會社ガ新タニ出來ルモノハ、定款ニ於テ此信託會社ハ保證ニ立ツコトヲ得ト云フコトヲ、定款ニ規定ヲ要スルモノト思ヒマスガ、サウデアアルカ、ソレカラ信託會社ガ新タニ出來ルノデナイ場合ハ、興業銀行ハ是ヨリ出來ナイト制限シテ居リマスガ、ソレニハ保證ニ立ツコトヲ禁ジテ居リマスガ、今日ノ興業銀行ハ、保證ニ立ツコトハ出來マセヌノデアリマスガ

○政府委員平沼騏一郎君 保證ニ立ツト云フコトヲ、一ツノ營業ト見レバ、定款ニ書カナケレバナリマセヌガ、他ノ事業ヲナスニ付イテ一ノ必要ナル法律行為トシテナスナラバ、定款ニ掲グル必要ハナイト思フ、他ノ事業ヲナスニ付イテ一ノ法律行為ニナルノデアアル、保證ニ立ツコトヲ營業ノ課目トスルナラバ、定款ニ書カナケレバナリマセヌガ、保證ト云フ一ノ獨立營業ガアルト云フ次第デナケレバ、定款ニ書ク必要ハナイト思フ、興業銀行ニ付イテノ御尋ネハアリマシタガ、興業銀行條例ヲ暗記シテ居リマセヌカラ、或ハ不正確ナ御答ニナルカ知リマセヌガ、興業銀行條例ニ於テ保證ニ立ツコトハ、營業課目トシテ居リマセヌガ、興業銀行法ニ於テ規定セラレテ居リマスル、各種ノ營業ヲ爲スニ付イテ、保證ト云フ一ノ法律行為ヲ爲スコトガ必要トナツテ參リマスレバ、興業銀行ハソレヲ致シマシテ、一向差支ナイト解シテ居ルノデアリマス

○守屋此助君 一言以テ之ヲ蔽ヘバ、保證契約ハ付帶ノ事業トシテ——此節學者先生ガ用弁テ居ル言葉ガアリマスガ、アノ附帶事業ニナルノデスカ

○政府委員平沼騏一郎君 結局サウデアリマス

○政府委員平沼駢一郎君 此信託會社性質ト致シテ、保證義務ヲ當然負ハスト云フコトハ、毎度言ハタ通テアリマスカ、詰リ此法案ニ依ルトコロノ信託ト云フコトハ、結局擔保ガ元ニナラ居ルノテ、諸種ノ物上擔保ヲ設定シテ、ソレニ依テ社債ヲ起スノテ、結局ハ擔保ト云フモノヲ信用スルノガ、元トニテ居ルノデアリマス、アノ鐵道ナラバ確カデアアル、アノ工場ナラバ確カデアアル、アノ不動産ナラバ貸シテモ損ハナカラウ、先ツ大勢サウ云フ考カラシテ、社債ノ募集ニ應ズルノデアラウト考ヘマス、サウスト寧ロ受託會社ニ望ムトコロハ、擔保權ノ實行ニ付イテ、十分ニ責任ヲ盡シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトガ受託會社ニ望ムトコロデアリマス、受託會社ノ債務ソレ自身ニ付イテマテ責任ヲ負ハス、斯ウ云フコトハ、一般ノ場合ニ於テ、信託ノ趣旨デナカラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、若シ受託會社カ擔保ノ保存ヲ怠ルトキハ、受託會社自身ガソレガタメニ生ジタ損害ハ、賠償シナケレバナラヌコトハ、當然デアリマス、寧ロ受託會社ノ債務ソレ自身ニ付イテ、責任ヲ負ハスヨリカ、此信託ノ基本ニテ居ルトコロノ擔保ニ付イテ、十分ノ責任ヲ盡サシムル、斯ウ云フ趣意ノ方ガ、信託ト云フモノ、本旨ニテラウカト考ヘマス

○堀田連太郎君 御説ハ分リマシタ、理論トシテハサウデアリマセウガ、内地人が社債ノ募集ニ應ズル場合ハ、之ハ今仰シヤツタ通テ、擔保其物ヲ信シテ應ズルニ相違ナイ、所ガ外國デ之ヲ假ニ募集スル場合ハ、ナカノクソレマデノ研究ハ出來ナイ、詰リ會社ヲ信任シテヤルト云フコトガ、實際アリハシマイカ、例ヘバ興業銀行ナルモノガアツテ、或鐵山ヲ抵當ニシテ社債ヲ發行シテ、此應募者ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ於テハ、其鐵山トカ鐵道ヨリモ、寧ロ興業銀行ヲ信用スル場合ニテ來ヤセヌカト思フ、サウ云フ時ハ、理論ハサウデアラウガ、實際信託會社ト云フモノガ、保證ノ責任ヲ有テ居ルモノト云フコトニシテ、不都合ガアリマスカドウカト云フコトヲ、御尋ネ致シマス

○政府委員平沼駢一郎君 信託——受託會社ト云フモノガ、保證ノ責任ヲ有テ、斯ウ云フコトハ不都合ハナイト思ヒマス、併シソレハ原則ニ於テ、ダマツテ居テモ保證ノ義務ガアル、斯ウ云フコトニスルノハ、信託ノ性質ニ抵觸スルダラウト思ヒマス、ソレカラ外國デ募集スル場合、其場合ニ付イテハ一ツノ特別ノ規定ヲ設ケテ置キマシテ、外國ノ會社ガ受託會社ニナレルト云フ規定モアリマス、ソレカラ内國ノ會社ガ受託會社ニナレバ、第三者ガ總額ヲ引受ケル規定ガアリマスカラ、其方ガ外國ノ或會社ナリ個人ガ、總額ヲ引受ケテ、其モノガ萬事受託會社或ハ社債發行會社ノ方ト話合ヲ致ス、斯ウ云フコトニナル、其場合ニナルト、詰リ外國會社ナリ第三者ヲ信用致シマス

○福島勝太郎君 第九條ニ「信託ノ業務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス」ソレカラ十條カラ十七條マデ、一々主務官廳ハ何時デモ信託會社ヲシテ、事業ノ報告ヲナサシムルトカ、或ハ主務官廳ハ會社ノ事業ヲ停止スルトカ云フコトガアリマスガ、十條以下十七條マデハ、九條ノ註釋ト見テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員平沼駢一郎君 結局サウ云フコトニナリマス、九條ハ原則ヲ定メマシタノデ、九條ノ結果トシテ十條カラ十二條マデノコトガ出來ルコトニナリマス、併ナガラ是ダケノコトヲ爲スカト申シマス、十條カラ十二條マデハ、隨分重イコトヲ規定致シマシタ監督權ノ作用ト致シマシテ、是レ以外ノコトハ全ク作ラヌト云フ、斯ウ云フ趣意ニハナラヌ積リテゴザイマス

○古賀庸藏君 此第九條ノ信託證書ト云フモノハ、會社ト會社トノ私成證書テ、公正證書ニスルト云フ譯ノモノデアナイデアリマスカ

○政府委員平沼駢一郎君 第十八條ノ信託證書ハ、仰ノ通私成證書ニ相成ラウト思ヒマス

○堀田連太郎君 私ハ緊急勸議トシテ、一ノ提議ヲシタイ、此法案ハ實ハ經濟上等ニ、最モ直接ニ、又一般ノ上カラ見マシテ、餘程大事ナ法案デアアル、併シ最早議會ノ會期モ切迫シテ居ル今日デアリマスカラ、成ベク早ク審議ヲ遂ゲテシマヒタイト思ヒマス、ソレニ就テハ、各章各條一々互ルヨリハ、此際協議會ヲ開イテ、親シク政府委員ノ御説明モ聞キ、成ベク迅速ニ之ヲ決了シタイ、却テ其方ガ早ク纏リハシナイカト思ヒマスカラ、協議會ヲ開クト云フ勸議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデア、堀田君ノ説ニ御異議ガアリマセヌカラ、速記ヲ中止シテ、協議會ヲ開キマス

午後零時六分速記ヲ中止ス

午後三時十三分開議

○委員長鳩山和夫君 唯今協議會ニ於テ御相談ノ一決シマシタノハ、第五十二條ニ於テ第九十七條第一項ニ規定シタル事項ノ決議ハト云フ次ニ「記名債券ヲ有スル者及第二項ノ規定ニ依リ債券ヲ供託シタル者ノ半數以上ニシテ社債總額ノ半數以上ニ當ル社債權者カ議決權ヲ行使シ」ト、是レダケノ文字ヲ入レルト云フコトデアッタノデ、其趣旨ハ貴族院ノ修正ノ通ニスルト、無記名債券ノ場合ニ於テ、少シ疑ガ生ズルト云フ理由カラ、唯今私ガ云フタヤウニスルガ宜カラウト云フ趣意デ、御相談ガ極マリマシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデア其通り決定致シマス、ソレカラ第八十二條ノ第一項ノ「社債カ期限ニ至リ」ト云フ、此社債ト云フ中ニ利息ガ含マレテ居ルヤ否ヤト云フ疑ガアツテ、是ハ無論利息ヲモ含ムモノデアルト云フ御相談ガ、一決致シマシタガ、其解釋デ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 其外ハ總テ貴族院ノ修正ニ同意シ、貴族院ノ修正セザル部分ハ、原案ヲ可決スルト云フ御相談デアッタノデスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデア別段議會ヲ二讀會ニ讀會トシナイデ、唯今ノ決議ヲ確定議ト見テ、宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデア總テ議了致シマシタ

午後三時十七分散會

明治三十八年二月二十四日印刷

明治三十八年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局